

令和6年度進捗評価シート
三島市歴史的風致維持向上計画（平成28年10月3日認定）
（最終変更令和3年1月25日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式1-1）	1
1 計画の推進体制	
②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式1-2）	2
1 まち並みと景観形成	
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式1-3）	
1 歴史的風致形成建造物保全整備事業	3
2 史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業	4
3 三島大祭り補助事業	5
4 三島囃子保存会補助事業	6
5 地域文化財啓発補助事業	7
6 景観重点整備地区内景観形成補助事業	8
7 案内看板統一化事業	9
8 ふるさとガイドの会補助事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項（様式1-4）	
1 文化財の保存・活用を行うための施設	11
2 文化財の防災	12
3 文化財の保存・活用の普及・啓発	13
⑤効果・影響等に関する報道（様式1-5）	
1 すりがね鳴らし「しゃぎり」楽しく ほか 14件	14
⑥その他（効果等）（様式1-6）	
1 観光交流客	15
□法定協議会等におけるコメントシート（様式2）	16

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係る都市計画課と文化財課が担当し、各事業担当課と府内の横断的な連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。</p> <p>●三島市歴史まちづくり協議会は、計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議及び計画の進捗評価を行う。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●事務局である都市計画課と文化財課の連携の下、関連事業の主な担当部署である商工観光まちづくり課との打合せを行った。</p> <p>●令和6年度歴史まちづくり協議会を開催(書面開催)し、歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価等について協議するとともに、文化財保護審議委員会を開催した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>■令和6年度三島市歴史まちづくり協議会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和6年5月23日(木) 協議事項 ・令和5年度三島市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について</p>		
<p>■令和6年度三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>第1回 令和6年8月7日(水)</p> <p>議事(1)経過報告</p> <p>①三島市文化財保存活用地域計画作成の進捗状況について ②史跡山中城跡災害復旧事業の進捗状況について ③向山古墳群整備活用事業の進捗状況について (2)今後の文化財の指定について (3)その他</p> <p>第2回 令和7年1月29日(水)</p> <p>議事 (1)今後の指定文化財の候補について (2)三島市文化財保存活用地域計画の認定について (3)史跡山中城跡災害復旧事業の進捗状況について (4)向山古墳群整備活用事業の進捗状況について</p>		
 <p>◆文化財保護審議委員会の様子</p>		

項目	評価対象年度	令和6年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
まち並みと景観形成		

- 計画に記載している内容
- 良好な景観の形成に関する施策との連携として、都市計画法に基づき建築物の高さ制限について検討する。
 - 三島市景観計画等との連携として、三島市景観形成基本計画に基づく景観重点整備地区の候補地について、三島市景観条例に基づき順次追加指定を進めて行く。
 - 三島市屋外広告物条例に基づく屋外広告物誘導整備地区の追加指定を行うとともに、同条例の周知に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

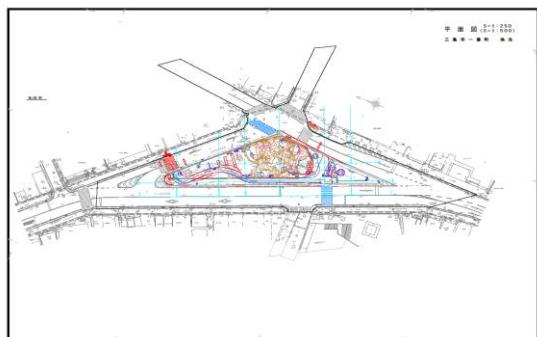
●三島大社の別当寺であった愛染院跡周辺を、「三島市まちなかリノベーション推進計画」で位置付けている「エリアを楽しむコンテンツおよび休憩スペースづくり」や「道路空間のリノベーション」の戦略に基づき、回遊性の向上やまちなかの賑わい創出を図るため、令和4年度に地元住民、関係団体及び審議会委員等をメンバーにワークショップを開催して愛染院跡周辺整備活用計画(案)を作成した。令和5年度は、関係団体、近隣施設関係者、学生等(合計16団体223人)に対しヒアリングを行い、様々な意見を踏まえて同計画案を公表した。令和6年度は、令和7年度の整備に向け、詳細設計を行った。

◆事業の効果

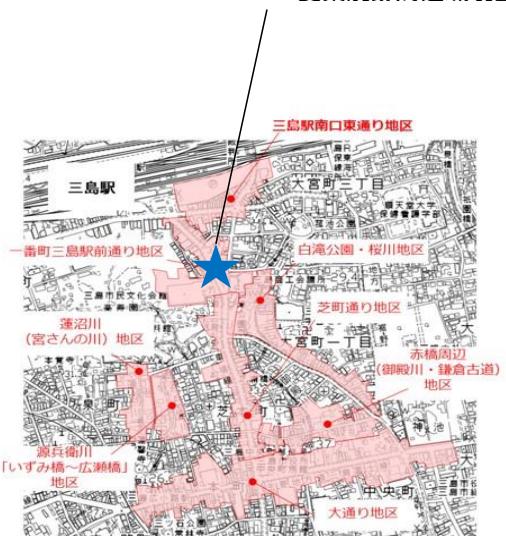
当該地は、景観重点整備地区「一番町三島駅前通り地区」に指定されており、また、現在、地区内では無電柱化事業も実施中で、今後、まちなみや景観が大きく変わることから、地区の住民や関係者等の景観形成に係る意識が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



▲愛染院跡周辺環境整備のイメージおよび平面図



指定済みの景観重点整備地区(8地区)

◆景観重点整備地区案内図

景観重点整備地区(8地区)とは

特に景観形成を図る必要があると認められる地区。景観形成の目標及び基準(建築物の色彩や屋外広告物の掲出基準等)を定めています。

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	重点区域内に点在している歴史的建造物(三島大社、楽寿館、梅御殿、三島暦師の館、懐古堂ムラカミ屋等)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、歴史的風致形成建造物の外壁及び屋根の修繕等を行った。 ○令和6年度は歴史的風致形成建造物の修繕等の実績無し。</p> <p>◆事業の効果 歴史的風致形成建造物の維持保全を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物については、適切な維持保全が図られるよう、引き続き、補修及び修復を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
<p>・令和6年度は、補助実績無し。</p> <p>※引き続き、民間所有者等に対し、歴史的建造物維持保全のため、補修及び修復を依頼するとともに必要に応じ修復等に対する補助を行う。</p> <p>●修復補助実績(令和5年度:小林設計事務所の外壁補修内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラック、雨吹き込み部分の修復、補修 (飾り壁剥離部撤去、・壁下地補修、壁モルタル補修、シーリング) ・モルタル部塗装、霧避け塗装 <p>※塗料は、もともとの外壁と同じ色相を使用し外観を復元</p>		
 <p>▲施工前(全景)</p>		
 <p>▲施工後(全景)</p>		
 <p>▲施工前(クラック拡大)</p>		

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～令和7年度	
支援事業名	史跡等保存活用等策定事業	
計画に記載している内容	山中城跡の調査及び史跡保存活用計画を策定するとともに、計画に基づき、復元整備などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月の台風19号及び令和3年7月の長雨で被災した8箇所の復旧工事及び今後の災害対策としての排水路設置工事を進めている。令和6年度は西ノ丸方面から田尻の池までの排水路(延長38.4m)の設置工事を実施したほか、三ノ丸西堀、田尻の池北側の法面復旧、三ノ丸西堀の堆積土砂の浚渫を行った。 令和7年1月13日に講演会『山中城跡の50年～発掘調査・史跡整備・災害復旧～』を開催し、94人の参加があった。 史跡山中城跡保存活用計画に従い、事業を実施した。計画の進行管理のため史跡山中城跡保存活用協議会を設置し、会議を1回実施した。 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	災害に強い史跡とするため、文化庁及び静岡県文化財課からの助言等を受けながら、災害復旧事業を進めていく。また、保存活用計画にしたがって今後の保存、活用、整備を進めていく。	
状況を示す写真や資料等		
		
三ノ丸西堀での災害復旧事業(排水路設置および土砂の撤去)		
		
史跡山中城跡災害復旧事業検討委員会での現場確認		

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
三嶋大祭り補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和50年度～令和7年度	
支援事業名	三嶋大祭り補助金	
計画に記載している内容	今後も三嶋大祭りを継続的に開催するとともに、更なる魅力の向上及び情報発信力の向上を図り、保存及び継承に繋げていくため、三嶋大祭りの運営費等の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>◆事業概要</p> <p>1日目：山車しやぎり大会、子供しやぎり大会、当番町山車競り合い 等 2日目：頼朝公旗挙げ出陣式・行列(頼朝役:富栄 ドラムさん)、梯子のり 等 3日目：みしまサンバパレード、農兵節パレード 等</p> <p>◆来訪客数：1日目：16万人、2日目：11万人、3日目：16万人</p> <p>◆事業効果</p> <p>市内最大のイベントの運営費を補助することで、3日間で約43万人の来場者数を記録し、交流人口の拡大に貢献した。また、農兵節やしやぎりなど伝統の普及継承による地域愛醸成と伝統芸能の次世代への継承に貢献した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	賑わいの創出による市内経済の活性化はもちろん、しやぎりをはじめとした伝統文化を次世代へ継承していくために、引き続き支援を実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
		

項目	評価対象年度	令和6年度	現在の状況
三島囃子保存会補助事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 昭和55年度～令和7年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	静岡県指定の無形民俗文化財である三島囃子の保存・継承のために、三島囃子保存会の活動費の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

- 令和6年度は三島囃子保存会の活動に必要な備品、横笛等の道具購入費用に対して補助を行った。
- 活動内容
 - ・練習、子どもしやぎり指導を4～8月を中心に実施
 - ・三嶋大祭り(8月)での演奏
- ◆事業の効果

本事業は静岡県の民俗文化財に指定された当時の演奏曲、曲調、演奏技術を後世に残すことを第一としており、技量を維持するための練習を継続して実施している。

なお、三島囃子の一部であるしやぎりは三嶋大祭りには欠かせないもので、晴れ舞台の祭り当日に向け、町内ごとに老若男女が集まって演奏練習を行うことで、地域の絆づくりに寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来の担い手となる子どもたちへの普及活動は必要不可欠であるため、今後も補助事業を継続していく。
状況を示す写真や資料等	



▲8月 三嶋大祭りでの演奏

評価対象年度		令和6年度
項目	現在の状況	
地域文化財啓発補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	民俗文化財の伝承のために、歴史研究を行う市民団体と三島市郷土資料館と行政が連携し、市内の民俗文化財に関する調査を実施し、映像や報告書としてとりまとめる。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●民俗文化財の伝承のため、シャギリ(大宮町1丁目)、子供シャギリ(大場)、ヤッサモチ(佐野)の調査を行った。令和7年度にはこの調査結果を報告書等にまとめ、情報発信を行う。</p> <p>●「石造物調査の会」を年間11回(うち1回雨天中止)実施し、郷土資料館ボランティアと協働で中郷地域のうち、長伏・御園・松本・新谷地区の石造物調査を進めた。また、長伏・御園地区の調査が終了したため、成果物として『三島の石造物4長伏・御園』(令和7年3月刊)を作成した。</p> <p>◆事業の効果 石造物調査やパンフレット作成により、市民ボランティアと連携して市内の文化財に関する調査や活用を進めることができた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回を重ねることで、ボランティアの練度が上がり、基本的な調査を自主的に実施出来るようになったため、さらに経験を重ねていく。また調査の一部は専門的な知識が必要になることから、専門家の意見等を聞きながら、事業を進めていく。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>▲庚申塔(御園 藏六寺)</p>  <p>▲宝篋印塔(長伏 泉福寺)</p>		
 <p>▲石造物調査(石材調査)の様子</p>  <p>▲石造物調査報告書 『三島の石造物4 長伏・御園』</p>		

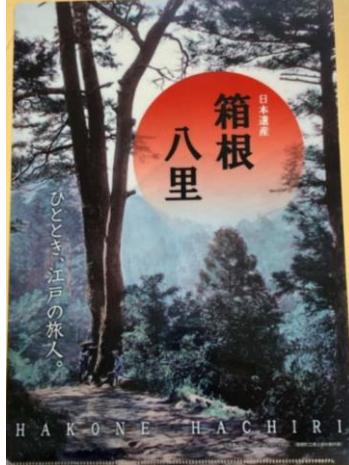
項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況								
事業期間	平成12年度～令和7年度									
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)									
計画に記載している内容	三島市景観重点整備地区において、建築物行為の制限に適合させるための工費の一部を補助する。									
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で										
<p>● 良好的な景観形成のため、景観条例・景観計画に基づく景観重点整備地区内の修繕等について補助を行った。 ○ 令和6年度実績:「赤橋周辺地区」内の建築物の外壁補修・塗装:1件(457千円補助)</p> <p>◆ 事業の効果 地区景観形成基準に適合した修繕などが実施されたことで、景観重点整備地区内の景観を維持するとともに、地区内の住民に対する景観形成への意識醸成を図ることができた。</p>										
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	当該補助事業の周知を図るために、広報みしまでの周知をするとともに、対象となる世帯に資料を配布する。									
状況を示す写真や資料等										
<p>【赤橋周辺地区の外壁塗装】</p> <p>景観形成基準</p> <p>(内容)</p> <p>・地区基準に適合する色相で外壁を塗装した。 5YR5/2、5Y7/0.5</p> <p>■色相の範囲</p> <table border="1"> <tr> <td>屋根</td> <td>外壁</td> </tr> <tr> <td>色相</td> <td>10RからYRを経て10Yの間</td> </tr> <tr> <td>明度</td> <td>5以下</td> </tr> <tr> <td>彩度</td> <td>1以下</td> </tr> </table> <p><参考></p> <p>■使用できる明度・彩度の範囲・例示</p> <p>○色彩</p> <p>外壁や屋根の色彩は、白滝公園、桜川、三島大社の景観にふさわしい、落ち着いた印象とするため、長い時間飽きがこないような暖色系の低明度、低彩度の色や無彩色を基調とする。</p> <p>日本工業規格 Z8721 [色の表示方法－三属性による表示 (マンセル値)]において、次のとおりとする。</p> <p>屋根：色相は 10R から YR を経て 10Y の間、明度 5 以下、彩度 1 以下、又は無彩色とする。</p> <p>外壁：色相は 10R から YR を経て 10Y の間、明度 7 以下、彩度 3 以下、又は無彩色とする。外壁面積の概ね半分以上を明度 4 以下としないものとする。</p>			屋根	外壁	色相	10RからYRを経て10Yの間	明度	5以下	彩度	1以下
屋根	外壁									
色相	10RからYRを経て10Yの間									
明度	5以下									
彩度	1以下									

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
案内看板統一化事業		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	歴史的な建造物等を案内する既存の案内看板について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など案内看板の整備を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●静岡県・三島市・清水町の「水の郷構想」に基づき、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用した事業を実施。 令和元年度に策定した境川・清住緑地から水の苑緑地の間で歴史的建造物等を含んだウォーキングコース上に案内サイン等を整備した。</p> <p>●事業の効果 国内外の利用者への案内機能の向上及び充実が図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 <p>▼ウォーキングコース</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>三島広小路駅</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>千貫樋</p> <p>水の苑緑地</p> <p>境川・清住緑地</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>【ウォーキングルート上に設置した案内サイン】</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>▲案内看板:13箇所</p> <p>◀路面標示サイン:7箇所</p>		

項目		評価対象年度	令和6年度 現在の状況		
三島市ふるさとガイドの会補助事業		□実施済 ■実施中 □未着手			
事業期間	平成3年度～令和7年度				
支援事業名	市単独事業				
計画に記載している内容	本市への来訪者に、市の歴史や人々の伝統的な活動についてボランティアで案内する「三島市ふるさとガイドの会」について、ボランティアガイド養成のための費用を補助する。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
●三島市ふるさとガイドの会に対し、補助金を支出した。					
●活動内容					
・観光客に対するおもてなしガイドの実施 ・「ふるさとみしま歴史探訪」をはじめとする各種イベントの企画及び実施 ・静岡県の協賛事業「県民の日」と「富士山の日」におけるウォーキングイベントの実施 ・案内人数 令和5年度 ガイド実績 271件 2,882名(平成3年発足以来88,953人) ・ガイド養成講座の実施					
◆事業の効果					
会員総数 51名					
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	ボランティアガイドの高齢化が進行。事業継承、担い手育成及び人員確保のため、隔年でボランティアガイド養成講座を開催していく。				
状況を示す写真や資料等					
					

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容		<p>●文化財等を保存し、情報発信をしている三島市郷土資料館を筆頭に、多くの施設が、来訪者の歴史学習、史跡や文化に対する意識の醸成に寄与する機能を担っており、継続的な事業実施を図る。</p> <p>●案内板や誘導サインの表示の統一化と多言語化を行うとともに、情報発信をするガイダンス施設の整備を図る。</p> <p>●国指定文化財の山中城跡については、経年劣化という課題を抱えていることから、山中城跡の調査及び保存・活用を図る保存活用計画の策定を行うとともに、計画に基づき復元整備を行っていく。</p>
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●三島市郷土資料館事業</p> <p>1 企画展</p> <p>R6/3/9～5/12 パネル展「三島の村々—旧村の歴史—」 10,458人 R6/6/29～9/29 「新規収蔵品展」 12,139人 R6/10/26～R7/1/5 富士・沼津・三島3市博物館巡回展 「石器とくらし—愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺—」 11,017人 R7/3/1～5/11予定 「野口三四郎の芸術世界」 開催中</p> <p>2 教室・講座</p> <p>(1)郷土教室 5月～翌3月までの主に土・日曜日、月1回程度 全15回(うち1回台風のため中止) 425人</p> <p>3 刊行物</p> <p>郷土資料館だより138・139号 各号1,000部 / 「野口三四郎の芸術世界」一筆箋 300部 『三島市郷土資料館研究報告15』 180部 / 『三島の石造物4 長伏・御園』 200部</p> <p>◆事業の効果:三島の歴史・文化に興味を持つもらうとともに、地元への愛着を育む手助けができた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>パネル展「三島の村々—旧村の歴史—」や企画展「野口三四郎の芸術世界」、『三島市郷土資料館研究報告15』は、近年実施した資料調査の成果を盛り込んだ内容としている。このように、文化財の調査、保存と活用を連動させ、市民へ文化財等を利用した学習の機会を提供していく。</p>	
状況を示す写真や資料等		
<p>▲三島市郷土資料館 研究報告15</p>	<p>▲企画展チラシ 「野口三四郎の芸術世界」</p>	<p>▲郷土教室の様子</p>

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●文化財のうち有形文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害により毀損、滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図ることが求められる。</p> <p>●美術工芸品などの有形文化財は、盗難に遭わないように防犯設備設置を推奨するとともに、所有者の防犯に対する意識向上を図る。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●1月26日の文化財防火デーにあわせ、三島大社、楽寿館で防災訓練を実施した。佐野美術館では企画展スケジュールを考慮して年1回実施している。</p> <p>●国登録有形文化財について、指定業者による防火設備の設置状況の確認を行った。</p> <p>◆事業による効果 定期的に防災訓練を実施すること、実施に際しては実際の状況を想定し、毎回課題をもって訓練することで、防災意識が醸成された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長らく維持管理してきた建造物等は、三島市の貴重な財産であり、引き続き市内の文化財所有者に対し、防災訓練の実施を呼びかけていく。	
状況を示す写真や資料等		
		
<p>▲楽寿館での消火訓練</p> 		
<p>▲郷土資料館での通報訓練</p>		
		
<p>▲三島大社での放水訓練</p>		

項目	評価対象年度 令和6年度	現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●本市に分布する文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実を図る。</p> <p>●市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げるため、発掘調査、整備工事、建造物修理の現場説明会などを随時実施する。</p> <p>●観光ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催などにより、文化財の普及・啓発を図る。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●市内の史跡に関する普及・啓発を進めるため、パンフレット「ようこそ山中城跡へ」、日本遺産「箱根八里」クリアファイルを増刷し、史跡の見学者や関係者へ配布した。</p> <p>●令和6年度に「三島市文化財保存活用地域計画」を作成し、その概要版を発行、関係者へ配布するとともにホームページに掲載した。</p> <p>●令和6年10月から令和7年1月のうち約3か月間、山中城跡の維持管理費への寄附をガバメントクラウドファンディングの制度を利用して呼びかけ、全国から77人、2,751,000円の寄附が集まった。この試みは令和6年度で6回目となり、寄附者には三島市のふるさと納税返礼品から希望の品を選択いただいた。</p> <p>●文化財課・郷土資料館の学芸員によるそよかぜ学習や郷土資料館による講演会、外部の団体が実施する講座等への講師派遣により、市内の文化財に関する理解を深める機会とした。</p> <p>◆事業の効果 文化財に関する調査、研究の成果を印刷物や講座、講演会等により発信することで普及啓発を進めることができた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の歴史や文化、文化財についての調査研究の成果をもとに普及・啓発を進めため、印刷物、講座、講演会、出前授業等様々な手法を活用していく。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>▲箱根八里クリアファイル</p>		
 <p>▲パンフレット「ようこそ山中城跡へ」(表、裏)</p>		

		評価対象年度	令和6年度																																										
項目																																													
観光交流客																																													
計画に記載している内容	市民及び観光客に向けて多様な媒体を活用した積極的な情報発信を行うことにより、観光客の増加に繋げるとともに、市民の本市歴史的資源への認識と意識の向上に繋がり歴史的風致の維持向上が期待される。																																												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																													
<ul style="list-style-type: none"> ●伊豆の玄関口という地勢や三嶋大社などの歴史資源及び文化資源に加え、街の景観向上整備や特産品の積極的なPR活動の成果として、観光交流客数は増加傾向にある。 ●令和5年度の観光交流客数は約631万人(前年度比22万人増)、市民の住環境に対する満足度は前年比1.4ポイント上昇した。 ●新型コロナウイルス感染症の拡大により減少していた観光交流客数は、回復傾向にある。 																																													
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																												
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし																																													
状況を示す写真や資料等																																													
<table border="1"> <caption>観光交流客数等の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (万人)</th> <th>住環境満足度 (点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22年度</td><td>4,300</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>4,400</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>4,400</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>5,200</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>6,000</td><td>85.5</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>6,500</td><td>86.0</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>7,800</td><td>87.0</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>7,800</td><td>87.5</td></tr> <tr><td>R1年度</td><td>7,200</td><td>88.0</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3,500</td><td>88.5</td></tr> <tr><td>R3年度</td><td>4,400</td><td>89.0</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>6,000</td><td>90.0</td></tr> <tr><td>R5年度</td><td>6,200</td><td>91.0</td></tr> </tbody> </table>				年度	観光交流客数 (万人)	住環境満足度 (点)	H22年度	4,300	85.5	H23年度	4,400	85.5	H24年度	4,400	85.5	H25年度	5,200	85.5	H26年度	6,000	85.5	H27年度	6,500	86.0	H28年度	7,800	87.0	H29年度	7,800	87.5	R1年度	7,200	88.0	R2年度	3,500	88.5	R3年度	4,400	89.0	R4年度	6,000	90.0	R5年度	6,200	91.0
年度	観光交流客数 (万人)	住環境満足度 (点)																																											
H22年度	4,300	85.5																																											
H23年度	4,400	85.5																																											
H24年度	4,400	85.5																																											
H25年度	5,200	85.5																																											
H26年度	6,000	85.5																																											
H27年度	6,500	86.0																																											
H28年度	7,800	87.0																																											
H29年度	7,800	87.5																																											
R1年度	7,200	88.0																																											
R2年度	3,500	88.5																																											
R3年度	4,400	89.0																																											
R4年度	6,000	90.0																																											
R5年度	6,200	91.0																																											
<p>▲観光交流客数等の推移</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【数値参考元】※令和7年4月時点最新の統計情報 観光交流客数:「令和5年度静岡県観光交流の動向」 住環境満足度:「令和5年度三島市市民意識調査報告書」</p> </div>																																													

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが提出された会議等の名称:三島市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:令和7年4月30日(書面開催)	
(コメントの概要)	
<p>■まち並みと景観形成 ・愛染院跡の溶岩塚に茂る樹木について、道路に面しているので風害等による倒木の危険も考えられます。専門家(樹木)のお墨付きを確認した方がよいでしょう。場合によっては高木の伐採も必要かもしれません。</p>	
<p>■三島大祭り補助事業 ・当番町制度、こどもしやぎりなど三島市固有の運営方法に則った文化・伝統の継承に向け、運営体制の見える化、体系化、課題抽出を整理しデジタルを活用するなどの事業補助の継続を望みます。</p>	
<p>■三島囃子保存会補助事業 ・少子化、高齢化による文化継承の難しさは年々深刻な状況にある。三島市民、特にこどもたちの市民アイデンティティを感じることのできる三島市固有の文化継承への補助継続を望みます。</p>	
<p>■案内看板統一化事業 ・ウォーキングコース上の案内サインの整備については源兵衛川から西地区が実施されておりますが、東地区の整備計画も必要であろうと思われます。源兵衛川から大場川までのウォーキングコースの設定や案内サインの整備も今後、視野に入れて頂けたらと思います。</p>	
<p>■文化財の保存・活用の普及・啓発ほか ・三島市役所敷地内にある「陣屋稻荷」の保存・整備をお願いします。江戸時代の東海道分間延絵図に描かれている貴重な陣屋(役所)の稻荷です。老朽化しております。是非保存整備をお願い致します。また、道路を挟んで向こう側の川の石橋跡に「鍋利」の文字の入った石橋跡が残されていますので合わせて保存をお願い致します。 ・令和6年度に策定された「三島市文化財課保存活用地域計画」ともうまく連携すると、さらに三島らしいまちづくりへと進化するものと期待します。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>・愛染院跡周辺環境整備事業については、令和5年度に実施した関係団体等へのヒアリングにおいて、早期の景観改善を望む声が多い一方で、溶岩塚上に繁茂する樹木の安全性に関する懸念の声があったことから、令和6年度に実施した詳細設計の中では、樹木医の助言を踏まえて樹木管理計画を合わせて作成しております。令和7年度以降は、同管理計画を含む設計に基づき、安全面に配慮しながら整備を進めていく予定です。</p>	
<p>・三島大祭り補助事業について、賑わいの創出による市内経済の活性化、しゃぎりをはじめとした伝統文化を次世代へ継承していくために、引き続き支援を実施していきます。運営体制の見える化に向け、実行委員会との連携を強化し透明性を確保します。</p>	
<p>・三島囃子保存会補助事業について、少子化、高齢化についての課題には市としても危機感を感じているところであります。この補助事業を通じて子供たちの意識啓発を働きかけてまいります。</p>	
<p>・ウォーキングコース上に案内サインの整備については、整備後年数が経過し、看板設備等の老朽化が進んでいる状況です。既存設備の維持管理を優先に対応してまいりたいと考えております。</p>	
<p>・陣屋稻荷については、担当課でも重要性を認識しています。庁内を管理する部署に要望を伝え、保存整備について検討してもらうよう働きかけを行ってまいります。また、石橋跡に関しては把握できていなかったため、改めて調査を進めます。</p>	